

令和 8 年熊本地震 非常災害対策本部会議（第 7 回）

議 事 次 第

日時：令和 8 年 8 月 5 日（水）16:10～

場所：官邸 4 階大会議室

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 開会 | 【内閣官房長官】 |
| 2. 地震の概要等 | 【気象庁長官】 |
| 3. 被害状況等報告 | 【内閣危機管理監】 |
| 4. 各省庁の対応状況 | 【各省大臣等】 |
| 5. 非常災害対策本部長発言 | 【内閣総理大臣】 |
| 6. 閉会 | 【内閣官房長官】 |

令和8年熊本地震について（令和8年8月5日12時00分時点）

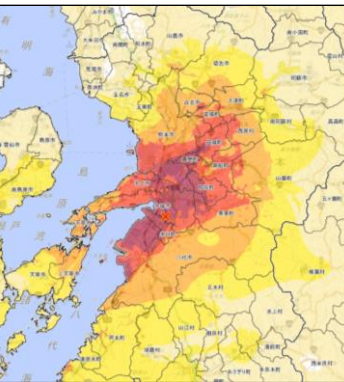
- 2026年(令和8年)7月28日16時27分頃に熊本県熊本地方の深さ16kmでマグニチュード7.1(暫定値)の地震が発生し、熊本県宇城市(うきし)及び氷川町(ひかわちょう)で震度7を観測。また、熊本県熊本地方で長周期地震動階級4を観測。
- 地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少しているが、地震活動は依然として活発な状態が継続している。揺れの強かった地域では、今後1週間程度、最大震度5強程度以上の地震に注意が必要(8月4日時点)。
- 今回の地震活動域は広範囲に広がっており、地震の規模や震源との位置関係によってはM7.1の地震による揺れよりも強く揺れる場合がある。また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意が必要。
- 今回の地震発生以降、8月5日12時00分現在、この地震による地震活動域で、震度1以上を観測した地震が536回発生(震度7:1回、震度5弱:5回、震度4:19回、震度3:54回、震度2:140回、震度1:317回)。8月4日12時以降の直近24時間では、震度1以上を観測した地震が18回発生。

※気象庁は、この地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動の名称を「令和8年熊本地震」と定めた。

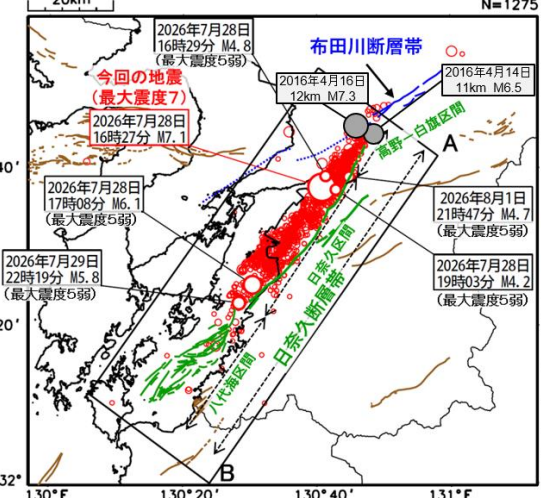
震度分布図



推計震度分布図



震央分布図

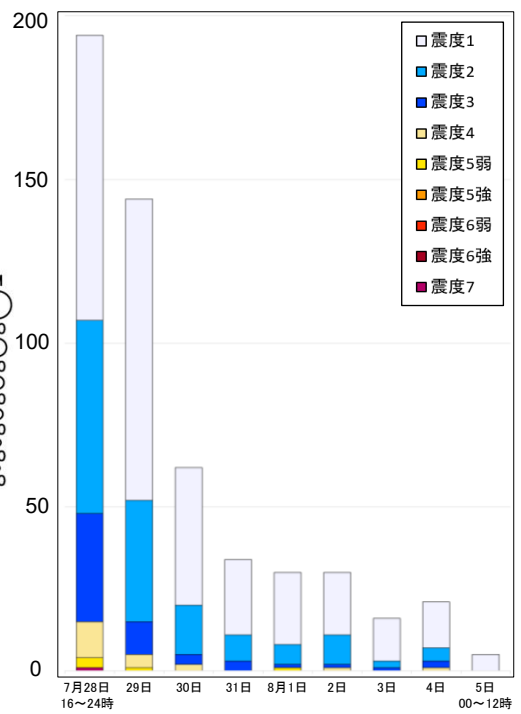


(2026年7月28日16時～8月5日11時、深さ0～20km、M2.0以上)

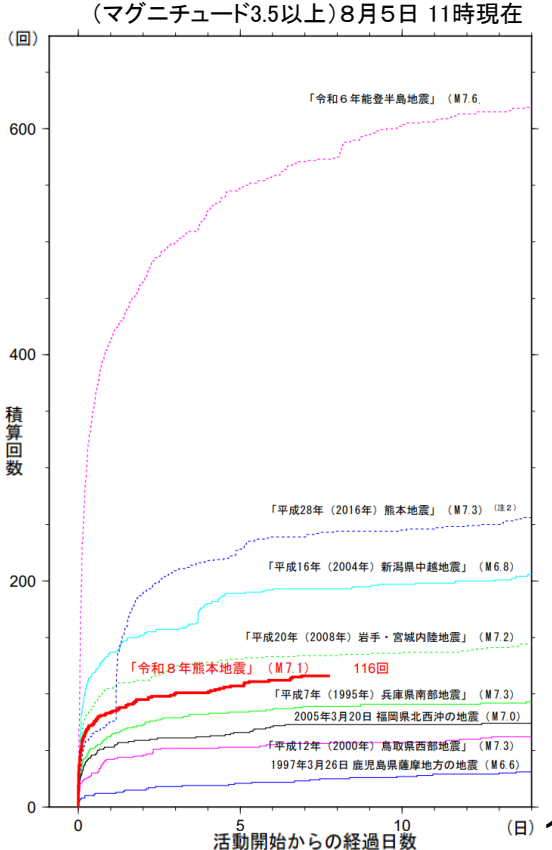
震度1以上の地震回数 (2026年8月5日12時00分現在)

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
回数	317	140	54	19	5	0	0	0	1	536

震度1以上の地震回数グラフ



主な地震活動との回数比較



※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがあります。

熊本県の今後の気象の見通しについて

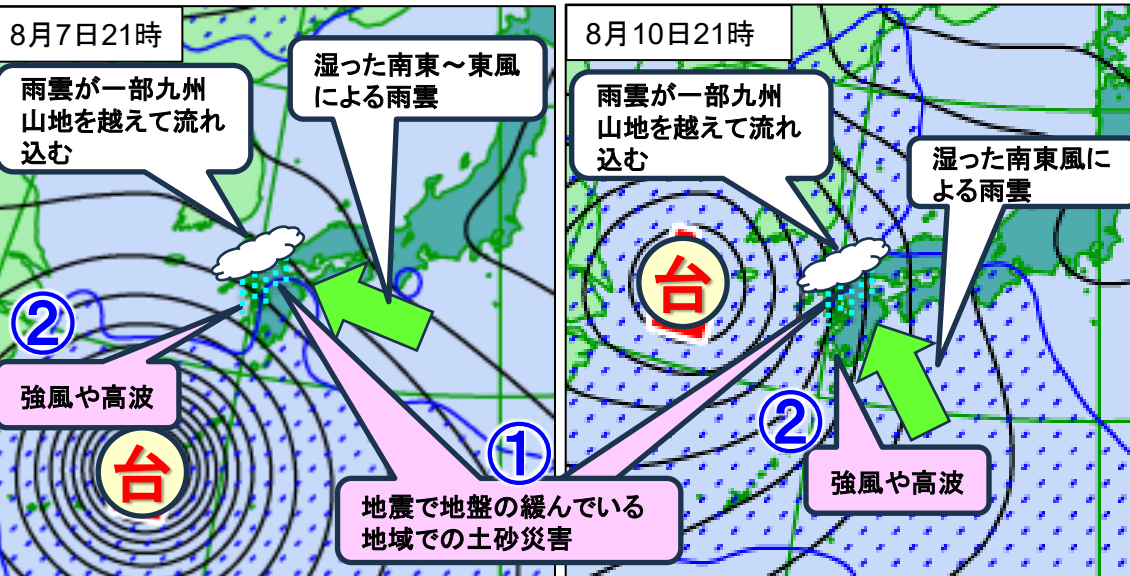
【気象の見通し】

- 8月5日(水)、6日(木)は高気圧に覆われて概ね晴れるが、6日(木)は次第に風がやや強くなり、暖かく湿った空気の影響で夕方から雨の降る所がある。7日(金)から12日(水)にかけては暖かく湿った空気の流れ込みが強くなり曇りや雨の日が続く。
- 12日(水)にかけて最高気温が35度前後となり、特に5日(水)は日射により危険な暑さとなる。最低気温も30度前後と高く、熱帯夜が続く。昼夜問わず熱中症などの健康管理に注意。

【台風第13号の予報と熊本県への影響】

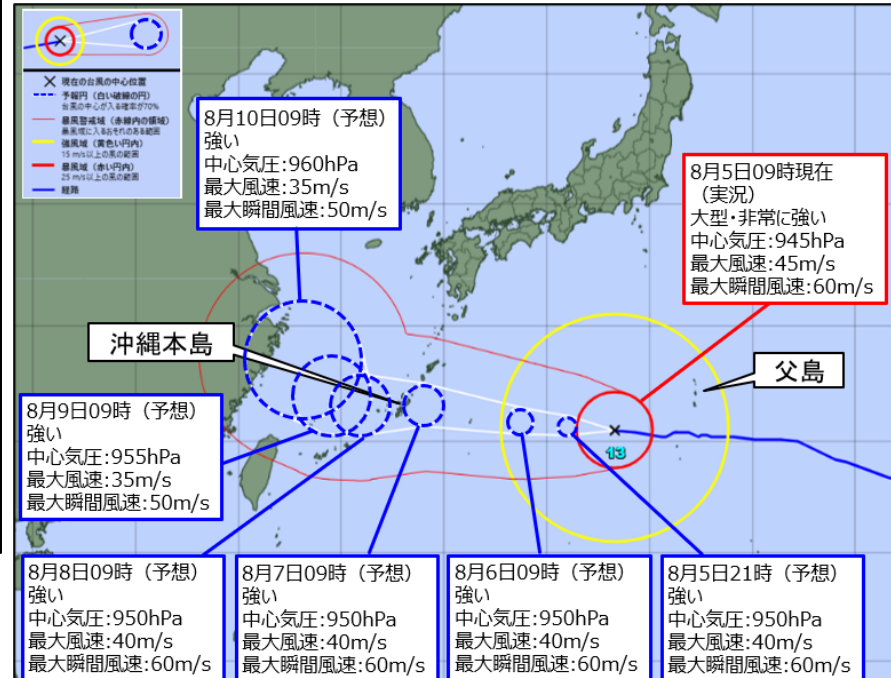
- 台風は、8月7日(金)から8日(土)にかけて強い勢力で沖縄・奄美に接近して動きが遅くなり、9日(日)には東シナ海へ進む。熊本県は6日(木)～11日(火)にかけて、①、②の影響を受ける可能性がある。台風が東シナ海を北上する場合には、熊本県への影響が長引くおそれがある。今後の進路予報に留意。
 - ① 雨雲が九州山地を越えて流れ込むため、地震で地盤が緩んでいる地域の土砂災害
 - ② 台風の影響による強風や高波最新の防災気象情報に留意。

■予想天気図(数値予報により自動的に作成した予想図)



※ハッチ域は降水が予想される地域

■台風情報(台風第13号)[8月5日09時]



■熊本県週間天気予報(8月12日まで)[8月5日11時]

今日 05日(水)	明日 06日(木)	明後日 07日(金)	08日(土)	09日(日)	10日(月)	11日(火)	12日(水)
晴	晴時々曇	曇	曇一時雨	曇一時雨	曇一時雨	曇一時雨	曇
-/-/0/0	10/10/30/30	40	50	50	50	50	40
-	-	35 (34~37)	34 (33~36)	34 (33~37)	35 (33~38)	37 (34~41)	37 (34~40)
39	37	30 (29~32)	30 (29~32)	30 (29~32)	30 (28~31)	28 (26~30)	28 (26~30)
-	28	-	-	-	-	-	-

※表中の英数字は、上から降水確率(%), 信頼度、最高気温(℃)、最低気温(℃)

(※) 今回の地震により、以下の県の一部で、警報・注意報等の発表基準を引き下げて運用している。

熊本県: 氾濫、大雨、土砂災害、高潮 長崎県: 土砂災害 鹿児島県: 土砂災害

令和8年熊本地震における厚生労働省の対応について

厚生労働省

1. 避難所等における避難者への支援

< 避難所の状況 > **避難所数143箇所、避難者数7,581人（8月4日時点）**

< 対応状況 >

○各活動チーム等により避難者の健康状況やニーズを把握し、以下の対応を実施

- ・ **物資**（毛布、飲料、食料等） **支援**
- ・ **段ボールベッド**の導入支援等 **避難所の環境改善**（全避難所でクーラー設置完了を確認）
- ・ **要配慮者**の日常生活上の支援
- ・ **保健師等チーム等が避難所を巡回**し避難者の **健康管理**を実施
- ・ **熱中症やエコノミークラス症候群**の対策に関するリーフレットを配布
- ・ **DICT（災害時感染制御支援チーム）**による感染対策を開始

○保健師等チーム等にて**氷川町、宇城市、美里町の戸別訪問を実施**

【主な活動チーム】

1. 保健チーム：避難所等における健康管理等、コロナを含む感染症管理・対策の支援等
 - ・ **保健師等チーム**（28チーム活動中）→ **避難者の健康管理**、熱中症対策などの指導・実施等。
 - ・ **DHEAT**（6チーム活動中）→熊本県庁の**保健医療福祉調整本部及び保健所における指揮調整の支援等**
 - ・ **DICT**（2チーム活動開始）→長崎大学やJIHS等の感染症の専門家を中心とした**災害時感染制御支援チーム**。
2. 医療チーム：避難所等における救護活動等
 - ・ **DMAT**（全体167チームのうち2チーム活動中）→**救護活動や熱中症・感染症対策等を指導**。
 - ・ **日赤救護班**（18チーム活動中）→**巡回診療によるけがの治療等**を実施。
 - ・ **DPAT**（24チーム活動中）→**巡回診療等こころのケア等**を実施。
 - ・ **災害支援ナース**（32名が活動中）→**避難者の健康管理、要配慮者の支援、感染症対策等**。
3. 福祉チーム：避難所等における要配慮者への福祉的支援、避難所の環境整備等
 - ・ **DWAT**（8チーム活動中）→**高齢者等への生活上の相談支援、授乳スペース設置など環境整備を実施**

2. 被災施設への支援

（1）医療施設における支援

< 被災への対応状況 >

- 医療施設 **36施設に対して、国交省・自衛隊等により給水支援等を継続**
- 透析 透析実施困難13施設のうち、**10病院は回復**。残り3病院は、他院での透析実施を手配済。

（2）福祉施設における支援

< 給水の支援状況 >

- 自衛隊**トレーラー29施設**、国交省等**給水車27施設**の計**56施設で対応**。追加ニーズにも順次対応。



物資供給



段ボールベッド



熱中症等対策